

令和8年2月18日

太田市議会議長 星野 一広 様

災害対策調査特別委員会委員長 町田 正行

災害対策調査特別委員会視察報告書

- 1 期 日 令和7年10月30日（木）から
10月31日（金）までの2日間
- 2 視 察 地 石川県白山市、福井県
- 3 視察事項 (1)石川県白山市議会
災害対応について
(2)福井県議会
鹿蒜川流域 防災・減災プロジェクトについて
- 4 派遣委員 8名
委員長 町田 正行 副委員長 青木 雅浩
委 員 神谷 大輔、前田 純也、高田 靖、高野 博善
山田 隆史、長 正祐
- 5 執 行 者 総務部危機管理室 室 長 渋澤 直美
係 長 篠木 隆昭
都市政策部道路整備課 課 長 山本 宗彦
課長補佐 内田 晴崇
- 6 随 行 者 議会総務課 係長代理 相山 智彦
- 7 視察概要 別添のとおり

(1) 石川県白山市議会 視察概要

白山市の概要 (令和7年3月末現在)

- ・面積 754.92 k m² ・人口 112,356 人 ・世帯数 47,045 世帯
- ・市制施行 平成17年2月1日
- ・一般会計予算額 (当初) 令和6年度: 530億8,100万円
令和7年度: 602億6,700万円
- ・議員定数 21人
- ・政務活動費 (議員一人当たりの月額) 60,000円

視察事項

「災害対応について」

・目的

能登半島地震における白山市の対応を軸に、実効性ある防災体制を調査する。具体的には、備蓄品やトイレ環境の整備、避難所のデジタル化、自主防災組織への支援実態を把握する。併せて、市民への情報伝達や広域連携の運用状況を確認し、得られた知見を本市の防災計画や災害対応力の強化に反映させることを目的とする。

・所感

石川県では令和6年元日に能登半島地震が発生し、能登半島を中心に大きな被害が発生した。幸い、白山市における被害は比較的大きいものではなかった。しかしながら、白山市は石川県からの避難者受け入れ要請があり、広域避難者の受入れを順次行った。受入れ当初は、市職員が避難所運営を行っていたが、対応に当たる職員の疲弊等の理由もあり、令和6年3月からは民間に運営を委託した。実際の避難所運営では、ノロウィルスの発生による隔離スペースの確保等、苦勞した点をお聞かせいただいた。

また、白山市の防災対策としては、防災備品の追加購入や感震ブレーカー設置に対する補助を行い、備えに対するさらなる充実を図っている。さらに、避難所のトイレに係るマンホールトイレについて、受入口数が計50箇所あるが、これはコミュニティーセンターの改修・改築時期に併せて整備したとのことであった。

群馬県や太田市は全国と比較し、災害の発生が少ないとされるが、今回の白山市の行政視察においては、能登半島地震の経験や実際の対応、取り組み等を学ぶことができた。他地域からの広域避難者の受入れ体制や避難所運営、日頃からの備えに対する支援、トイレ環境整備等、本市の今後の災害・防災対策に関して参考となるものであった。

(2) 福井県議会 視察概要

福井県の概要 (令和7年4月1日現在)

- ・面積 4,190.56 k m² ・人口 734,119 人 ・世帯数 299,571 世帯
- ・県制施行 明治14年2月7日
- ・一般会計予算額 (当初) 令和6年度: 5,046 億 9,501 万円
令和7年度: 5,017 億 3,426 万円
- ・議員定数 37 人
- ・政務活動費 (議員一人当たりの月額) 300,000 円

視察事項

「鹿蒜川流域 防災・減災プロジェクトについて」

・目的

鹿蒜川流域における「流域治水型災害復旧」の採用経緯と、事業化に向けた課題解決のプロセスを調査する。県と町の役割分担や連携体制、住民要望の反映手法と合意形成の実態を把握し、ハード・ソフト両面からのアプローチを学ぶ。得られた知見を、本市の迅速な避難体制構築や、持続可能な治水計画の立案に反映させることを目的とする。

・所感

福井県は、令和4年8月の大雨において、被害が集中した鹿蒜川流域の復旧・復興を迅速、確実に進めるため、被災施設の復旧に加え、ハード対策及びソフト対策を一体的に進めた。これが、福井県と南越前町が連携しながら、流域全体の被害軽減を目指して実施した対策である「鹿蒜川流域 防災・減災プロジェクト」である。ハード対策としては、地域の実情に合わせ、輪中堤整備や河道拡幅等を実施し、ソフト対策としては、災害危険区域の指定による土地利用規制や南越前町の防災アプリを活用した情報発信、自主防災組織への支援等を実施した。

また、対策を進めるにあたり、地元の地域住民との合意形成については、3地区に分けての説明、丁寧な説明、将来を見据えた話し合い等がポイントとなったとのことであった。

我が国では近年、災害の激甚化、頻発化が叫ばれる中、今回の福井県の行政視察においては、福井県と南越前町が連携して実施した対策である「鹿蒜川流域 防災・減災プロジェクト」を通じ、実際の対応や取り組み等を学ぶことができた。ハード対策及びソフト対策、行政の実行力とスピード感、地域住民との合意形成等、本市の今後の災害・防災対策に関して参考となるものであった。